

# うな民クラブ 青空年末市

令和3年  
12/26(日)  
9:30~11:00  
宇波交流センターにて開催!

☆うな民クラブ☆  
うなみのゆずジャム、ブルーベリージャム、手作りこんにやく、柑橘ピール...

家で食べるのはもちろんですが、ふるさとや地域の味を御身に付けている家やお店に買ってもらったものや、お土産や、お祝いなどにいかが? 御用ジャムの購入も受け付けます!

☆そのほか☆  
地元野菜  
りんごジャム  
いちごジャム  
焼きたてパン(さなパン)

しめなわ  
黒豆  
たけのこ水煮  
菌床しいたけ

☆う我幸魚屋☆  
かもじ海苔や  
鮮魚を販売!

手作りカパンなどの販売もあります!

宇波の方はふくろう号が利用できます。

お楽しみ抽選  
来場された方は受付をして下さい。受付後お楽しみ抽選くじをひくことができます。抽選でささやかなプレゼントを差し上げます。一人1回。数がなくなり次第終了します。

主催:うな民クラブ 共催:宇波交流センター  
(安来市広瀬町宇波482-2 ☎36-0852)

年末年始の休館のお知らせ  
12月28日(火)から1月5日(水)まで  
年末年始の休館をさせていただきます。  
ご迷惑をおかけしますがよろしくお願い致します。

## かじかの郷作品コーナー



クリスマスバージョンに模様替えです。かじかの郷の利用者さんが、画用紙を一枚一枚切り、貼り合わせ作られました。根気がいる作業で、とても大変だったと思います。かわいらしい作品をありがとうございました。

今年も残すところあとわずかとなりました。新型コロナウイルスという新しい病が流行し2年が過ぎましたが、なかなか終息というわけにはいかないようです。一日でも早く、これまで通りの生活が送れ、交流センターの事業も平常に戻れるよう願うばかりです。来年も皆様方にとりまして良い一年となりますようお祈り致します。

# 宇波交流センターだより

令和3年12月20日発行(編集・発行)宇波交流センター  
〒692-0622 安来市広瀬町宇波482-2 ☎(兼fax):0854-36-0852  
Mail:unami.cs@city.yasugi.shimane.jp



11月末宇波地区人口統計(安来市人口統計より)	人口	戸数	10歳代以下	20~30歳代	40~50歳代	60~70歳代	80歳代以上	高齢化率
	208名	91戸	15名	25名	41名	80名	47名	51.0%

## 防災ウォーキング(11/14) ~宇波体協・宇波地区自主防災組織主催~

宇波体協と、宇波地区自主防災組織主催で防災ウォーキングが開催されました。昨年に続き、新型コロナウイルスの影響で中止になった体育大会の代替事業で行われました。地区対抗の体育大会の開催がなかなか難しくなっている状況の中で、誰でも気軽に参加できるウォーキングは心身ともにリフレッシュすることができた行事となりました。

この日は天気も良く、33名の参加者が、宮の谷、滝の谷方面に向けて出発。危険な箇所をチェックしながら、景色も楽しみました。



宮の谷コース  
笹刈りトンネルの前で...  
5.4キロのコースを頑張りました。



滝の谷コース  
塩滝のマイナスイオンでリフレッシュ!

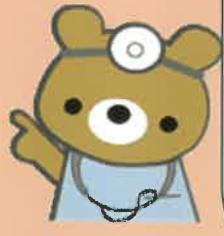


## ドクター中西 元気クリニック

Dr.中西敏雄  
広瀬町布部758 ☎:36-0009

診察時間  
午前8時~12時 午後4時~6時

1月の開院日  
7日(金)午後  
8日(土)午前、午後  
9日(日)午前、午後  
10日(月)午前  
28日(金)午後  
29日(土)午前、午後  
30日(日)午前、午後、  
31日(月)午前



新型コロナワクチン  
ワクチン接種をしています。1月9日、30日(場所は診療所)の予定です。接種券が届いた方は診療所に電話して予約して下さい。まだ空きがあります。コロナワクチンに関するお問い合わせは18時から19時の間にお願いします。3回目ワクチン接種は、時期などがまだ決まっていません。接種券が届くのをお待ち下さい。☎ 0854-36-0009。

インフルエンザワクチン  
インフルエンザワクチンが10月1日から始まっています。65歳以上の方は1500円の自己負担で接種できます。必ず電話で、ワクチン在庫状況を確認して予約してからおいでください。

コロナかな?  
心配な方は、診察日に電話してください。検査が可能です。

☆イベント時などで撮影した写真は交流センターだよりやホームページなどで使用させていただきます。支障がある方はお申し出下さい。



平成28年から宇波の特産品作りをめざし、うな民クラブを立ち上げ活動を続けてきました。ゆずジャムも地域内外の方に少しづつですが知ってもらえ、定着しつつあるところです。

今年度は島根県の支援事業である「しまねの公民館次世代参画支援事業」に取り組み事業を行っています。この事業は地域を担う次世代の公民館活動への参画に向けた取り組みを進めるもので、うな民クラブのみなさんのご協力で活動を行っています。

その活動の一つであるゆずジャム作り講習会を講師の先生をお迎えし開催しました。若い世代の方にも参加いただき、有意義な講習会となりました。この活動が根付いて、宇波の特産品が広く多くの方々に知ってもらえるようになるといいですね。

うな民クラブでは、引き続きみなさんのご参加をお待ちしています。興味がある方はぜひ一度遊びに来てみてください。お待ちしております♪♪♪



講師は武田久男氏(元島根大学専門技術員)と加藤喬さんでした。武田先生のお話はとても楽しく、笑いの絶えない講習会となりました。



うな民クラブのみなさんは、大鍋で20キロものゆずジャムを作りました。作業のポイントは体が覚えているようです！さすがです！

宇波詩歌同好会作品

短歌

この夏はテレビで競技観戦、感動ももうバラリンビーツ、ハ重

船はれて五年五季も数うらう日、氏神様詣ては秋奈の朝、後子

酷暑去り金とせいの香漂いて、夫の散髪なまは遙か、後子

頭良く見ればわかき品の良、笑て話さる良き友なりぬ、鬼子

塩淹の川面に浮ぶ五羽の鴨、ときおり潜り餌をつばむ、後子

夕顔がなぜか今年はおかしく咲く、小さき(ほみ)にエールを送る、良子

白鳥の餌を影穂に、伯耆大山今朝雪がむく、奇子

併せれば百六十年の誕生日、やわらき赤飯妻祝を呉れ、後夫

滝奥の山の名付き見え居て、秋の夕日は足急なる、鬼子

しびるチヂメビスコッポと、刺し刺しやうと楽しんでる、八重

コノ故帰島子等も待たなく、庭にひっそり山茶花二輪、後子

草刈が困難とある体調に、我が道の草長は無念、後夫

川柳 詠人知らず

八路踏みこなす体操一年生

歳とれば笑って居る外は、一等国とは見えなぞ我が日本

よとの赤の益者と弾ける

人から人の子の標的人類か

ドロンおまき実れよ渡米

鶯の鳴かぬ春が過ぎ行く

老傲を裁判所は叱りつけ

いつかは人の暮らして温暖化